



国際ロータリー第2640地区

# 和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org <http://wakayama-serc.org/>

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト:わかやま新報社 代表取締役社長 津村 周様

## 《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 和歌山新報社 代表取締役社長 津村 周様  
後ほど卓話宜しくお願い致します。先日は『秋の収穫祭』取材に来ていただき、そして記事にして頂きありがとうございました。
- ② 10月14日(土)『秋の収穫祭』朝早くからお手伝いありがとうございました。無事に終わることが出来て良かったです。
- ③ 昨日、地区の記念ゴルフ大会に坂本幹事・鯨会員・中曾会員・松田会員、参加して頂きありがとうございました。
- ④ 10月25日(水) 10時~ 青木松風庵見学があります。
- ⑤ 最近涼しくなりました、体調には気をつけてください。



## 《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。  
・堺おおいずみRCより「南海トラフ地震と大津波に備えよう!!」津波の語り部三浦 浩氏講演会 11/4 和歌山県有田郡広川町中央公民館チラシ  
・令和5年度版「わかものサポートステーション」パンフレット
- ② 堺中RC社会奉仕委員長より10月15日(日)第50回堺まつりにて「堺中RC盲導犬ふれあいイベント」開催の案内が届きました。
- ③ 国際ロータリー第2640・2650・2660・2680地区ローターアクト、2023-2024年度 関西四地区情報交換会・交流会の案内が地区より届いております。  
日時・場所:2023年11月26日(日)9:30~16:00、アリストンホテル神戸
- ④ ローターアクト「SUP(スタンドアップパドル)体験・海岸清掃及びBBQ懇親会」のご案内が届きました。日時・場所:10月22日(日)13:00~19:00、三尾ダイヤモンドヘッド(和歌山県日高郡美浜町) ご興味ある方はご参加お待ちしております。
- ⑤ ローターアクト 運動会のご案内  
日時・場所:10月28日(土)13:30~16:30、和歌山市民体育館  
内容・目的:ドッジボールなどの多人数でできるスポーツです。スポーツを通じて健康増進と共に交流を促進する。  
締切は10月20日(金)



本日の出席報告												
会員総数	39名	出席者		出席率		寄付金		ニユニコ				
出席免除会員	2名	10/18	25名	65.79%	累計	913,964	米山記念 奨学会	49,000	ロータリー 財団	189,000	東南 育英会	0

## 《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ⑥ 今期 2 回目の向陽高校への東南育英会奨学金を本日 15:30 に持参致します。新奨学生の 1 名 (1 年生) とは初面談です。参加者は塩崎会長・土屋青少年奉仕委員長、幹事の私です。
- ⑦ 来週の例会は職業奉仕 職場見学例会「青木松風庵月化粧ファクトリー」です。集合は入口に 10 時です。その時に集合写真を撮りますので、店内に入らずその場でお待ちください。

## 《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

- 和歌山新報社 津村様：卓話御礼は貴クラブ奉仕活動にお役立てください。
- 塩崎君：和歌山新報社 津村社長様 本日は宜しくお願ひします。
- 坂本君：収穫祭 ご協力ありがとうございました。
- 溝落君：収穫祭 ご苦労様。
- 赤在君：津村様 本日よりしくお願ひいたします。
- 竹中君：赤在さん 昨日はありがとうございました。
- 吉田君：芋掘り孫娘がたいへん楽しく喜んでいました。ありがとう。  
会長・幹事そして山田様、赤在様 お疲れ様でした。
- 小林君：和歌山新報社 津村社長様、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 中曾君：芋掘り おつかれ様でした。
- 結婚記念日お祝い：神谷君、坂口君、寺下君、鯉坂君。



## 《 ローター財団 》

- 山田君：イモの収穫祭 会長・幹事・社会奉仕委員会の皆様、お疲れ様でした。

## 《 米山記念奨学会 》

- 松田君：本年度、社会奉仕事業「収穫祭」ありがとうございました！



## 「 秋の収穫祭 10/14 」♪蔵だし写真♪





♪ 10月 ご結婚記念お祝い ♪  
♪おめでとうございます。♪



ロータリーソング斉唱 赤在ソング委員「四つのテスト」「結婚記念日の歌」  
ゲスト・ビジター紹介 谷口親睦委員長



クラブフォーラム 会報(広報・雑誌担当)委員会

卓話「地域に認知されるための広報の力～メディアを知ることから始めませんか?～」  
株式会社和歌山新報社 代表取締役社長 津村 周様



日頃より格別のご高配、ご愛読賜っておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。わかやま新報は今年7月に創刊31年を迎えました。従業員18人で日刊紙を発刊している小さい新聞社です。

本日は「地域に認知されるための広報の力」ということで、メディアを知ること、そして広報されることがブランディングにつながることを新聞社目線でお話しさせていただきます。メディアには大きく新聞、ラジオ、テレビ、雑誌、インターネットがあります。スマホが出てからのネットは、SNSも含めて多種多様に凄まじいスピードで動いています。情報が簡単に受発信でき、その莫大な情報が溢れかえる中、AIが自分の興味のあるものを便利に教えてくれます。それは、素晴らしい文明だと思いますが、気をつけなければなりません。その情報がフェイクかどうかを見極めないといけなのです。

そういった点で、記者が足を運んで書いているニュースは信頼性があると私は思います。現に総務省が発表しているメディアの信頼度調査では、新聞がNo.1、ついでテレビ、ラジオとなっています。これだけネットニュースが溢れていても、新聞離れが現実にも起こっていても信頼度が高いのは「新聞」だというのは、歯を食いしばりながら新聞発刊を続けている私たちの励みになります。

さて、本題に戻ります。広報が地域に認知され、ブランディングにつながることをお話します。広報されること、メディアに取り上げられることで、取引先や銀行、家族、自治体が存在を知ります。つまり、地域が知るようになります。また、従業員が知ることで、誇りに思いモチベーションアップにつながります。SNSで不特定多数の人に知ってもらうことも必要ですが、信頼度の高いメディアに取り上げられることは信用を一つ積み上げると言っても過言ではありません。では、メディアに取り上げられるためには、どうしたらいいのでしょうか。報道機関には毎日莫大なプレスリリースが届きます。和歌山市や和歌山県の大きな自治体には記者クラブがありますが、そこへの投げ込みや、各社へDMなどを送っただけでは宝くじと同じレベルです。忙しい記者はニュースと思わないと動きません。そのプレスリリースが目止まるかは至難の業だと思います。読み手の記者をイメージして、読みやすく、ニュースに感じてもらう工夫、熱量（思い）が少しでも伝わる工夫が必要なのです。

A4サイズ 1~2枚で、わかりやすくコンパクトにまとめていただき、その中に、新規性、トレンド性、季節性、独自性、社会性(有益性)、ストーリー性、ユニーク性などが必須です。特長(新しいもの、珍しいもの、何がニュースなのか)をわかりやすく、規模感がわかるようなものは数字を入れる。そのように書いたプレスリリースは、取材につながる可能性が上がります。誇大広告のような裏が取れないものや、煽るような見出しはタブーですのでお気を付けください。

最後になりましたが、弊紙「わかやま新報」も地域に寄り添う信頼される地方紙になれるよう精進してまいります。引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。本日は、貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。



「本日の例会」2023年10月25日(水) 10:00~ 月化粧ファクトリー

- ・開会点鐘 塩崎会長
- ・ローラーソング 奉仕の理想
- ・出席報告(会場監督)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・委員会報告
- ・「行事」 職業奉仕委員会 職場見学会「青木松風庵 月化粧ファクトリー」
- ・閉会点鐘 塩崎会長